

佐屋街道に花と歴史をのこす会の活動視察

●日 時：平成25年11月22日（金）10：30～11：00

●場 所：中川区尾頭橋三丁目付近

【佐屋街道に花と歴史をのこす会について】



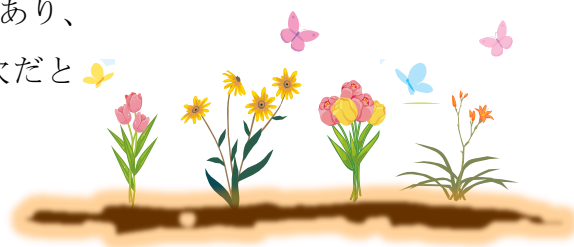
佐屋街道は、東海道の迂回路として1600年代に整備され、徳川家康や明治天皇・皇后兩陛下を始め、多くの人々が利用した脇往還であったという歴史がある街道です。

しかし、今では地域住民、特に若年層には佐屋街道そのものの認識が乏しく、また、道路にある植栽帯は、樹木は枯れ、代わりに雑草が生い茂り、ゴミがゴミを呼ぶ状況となっています。

現在の状況を憂いた地域住民が、佐屋街道の認知度を高め、歴史を学び、自分たちの町に誇りと愛着を持ち、後世に遺していくために一歩を踏み出しました。

自分たちの手で、荒れ果てた植栽帯をきれいにして四季折々の花を植え、維持していくことにより『愛着』が芽生え、佐屋街道の歴史を紹介する案内板を設置し歴史を広めることで『誇り』を持つきっかけになればと思い活動しています。

また、活動は今後も継続していくことが重要であり、継続するためには自主性を高めることが不可欠だと感じているそうです。



【活動の様子】

○ 佐屋街道と尾頭橋の歴史案内板の除幕式 ○

中川区尾頭橋三丁目内の佐屋街道沿いに佐屋街道の歴史を伝える案内看板が完成し、11月22日（金）の午前10時30分から除幕式があり、歴史案内板の製作に携わった方や地域の方々、名古屋市長を始め中川区長や中川土木所長など行政関係者が出席しました。

初めに、佐屋街道に花と歴史をのこす会の会長から挨拶があり、地域の人々が中心となって佐屋街道沿いの植栽帯のゴミや雑草を取り除き、そこに花苗を植える活動を行ったことによりまちが明るくなったことは喜ばしいことであり、そこに佐屋街道の歴史を継承するための看板が完成し、今日を迎えた。今後も活動を続け、歴史を継承していきたいと話されていました。



河村たかし市長からは、『佐屋街道に花と歴史をのこす会』のこのような取り組みは、環境を整備し、歴史の継承に貢献すると感謝のお言葉があり、感謝状が渡されました。



同会では、歴史案内板の維持管理や佐屋街道沿いの植栽帯の除草や清掃、花植えの活動を行っていくことで、常日頃から自分たちの佐屋街道と誇れるものにしたいと意識しているようです。

また、この歴史案内板以外にも歴史を感じさせる石柱が、佐屋街道沿いの“歴史ある和菓子處”の軒先に設置されています。佐屋街道を知るため、楽しむために、是非、まち歩きをして探してみてください。



皆さんの日々の活躍が形になり、素敵な案内板や石柱が完成しました!!



PECoの感想

自主的な活動が継続され「愛着」が生まれ、歴史が広まり「誇り」が継承されることを望んでいます。

